

授業構想シート

授業者 田中秀明

全校 道徳 科

題材 「自分がされて嫌なことは他人にはしてはいけない」は正しいのか？

令和5年6月24日(土)

単元計画		ねらい	対応	振り返り
時	題材			
1	「自分がされて嫌なことは他人にはしてはいけない」は正しいのか？	異学年生徒や保護者、地域の人々と「自分がされて嫌なことは人にはしてはいけない」の是非について話し合う活動で、平等と公平の違いに着目し、自己と他者の意見を比較することを通して、同じ言葉でも人それぞれ受け取り方が違うことに気付くとともに、適切な行動指針となる言葉を「自分がされて嫌でなくても」に続けて完成させることができる	プリントは、生徒は各学級、保護者等は受付で配付 集会隊形で整列、保護者等は後方スペースに	〈視点〉 ・話し合いを通して気付いたことから、適切な行動の基準を言葉として表現できたか。 ・異学年の仲間や大人のみなさんと一緒に活動することでどのようなことが学べたか。
2		生徒、保護者、地域、職員で、パースデーチェーンに取り組む。①1月から7月生まれの参加者が誕生日順に並び大きな輪をつくる ②8月から12月生まれの参加者が誕生日順に並び内側に輪をつくる。③先頭から順に6人ずつのグループをつくる。※以降グループ活動 ○「自分がされて嫌なことは人にはしてはいけない」は正しいことかどうかを考える (think-group-share(挙手))。	混乱なく動けるように方法をスライドに示す。	まとめ ○同じ言葉をかけられたり、同じ出来事に出会ったりしても、感じ方は人によってちがう ○自分がされてイヤでなくても、相手にとってはイヤなことがある ○相手がされてイヤだと思わないかを考える。
3				
4		「自分がされて嫌なことは人にはしてはいけない」の善し悪しについて話し合い、最善解を見いだすことができる		対応
5				
6		①かけられる言葉や出来事について、自分と他者の感じ方を比較する。 ②「自分がされて嫌なことは人にはしてはいけない」の善し悪しを①を根拠に判断する。 ③人が行動するときの適切な基準を言葉で表現する。	グループの話し合いは、3(2)年生がファシリテートする。保護者等には、サポートしてもらう。	解決活動 ⑦自分の考えをもつ。 ⑧グループで互いの意見を聴き合う。 ⑨グループの話し合いで出た意見を全体で共有する。 ⑩みんなの意見を聴いたり、グループで話し合ったりする中で気付いたことを整理する。

ルーブリック	S	A	B	C
「自分がされて嫌なことはしてはいけない」の善し悪しを、話し合いを基に見だし、適切な行動の基準を言葉で表現することができる	Aに加え、多くの生徒が適切な行動するための標語として日常的に口ずさむものを言葉で表現することができる	同じ言葉や出来事に対して、自分と他者の感じ方を比較し、適切な行動の基準となる言葉を表現することができる	同じ言葉や出来事に対して、自他の感じ方を比較し、人によって感じ方が同じでないことに気付くが、適切な行動の基準となる言葉を表現できない	同じ言葉や出来事に対して、自分の感じ方と他者の感じ方に違いがあることに気付けない